



令和2年度事業報告および令和3年度の取組について

令和2年度事業報告

1 エイジフレンドリーシティ推進事業

(1) エイジフレンドリーシティ推進戦略づくりワークショップの開催

ア 西部地区ワークショップ（3回目）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となっていた、西部地区ワークショップの3回目を令和2年7月22日に開催。令和元年度開催した2回を含め、全3回にわたるワークショップにおいて、『エイジフレンドリーシティ推進戦略』をまとめた。



西部地区（3回目）の様子

※詳しくは、資料2にて説明

イ 北部地区ワークショップ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催できなかった。

(2) エイジフレンドリーシティ市民意識調査

「秋田市エイジフレンドリー指標」における市民の意識の変化や市政に対する評価について分析することで、エイジフレンドリーシティの進捗状況を検証するとともに、令和3年度に策定する「第3次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画」の基礎資料とするため実施した。

(3) シニア情報ポータルサイト構築支援事業

令和2年5月に設立された「シニア情報ポータルサイト運営協議会」において、アクティブシニアを対象とした情報を集約するポータルサイト構築に向けた協議を行い、令和3年1月末に「プラっと！」を開設した。

サイトの運営は委託先である株式会社ALL-Aが行い、官民一体で情報提供などの支援を行っている。

(4) 課題と対応

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度実施予定であった北部地区ワークショップは開催できなかったが、本年度実施した市民意識調査で見えてきた地区別の課題なども含め、住民からの貴重な提言として、令和3年度に策定する第3次行動計画に反映していきたい。

また、今年1月に開設したシニア情報ポータルサイトの運営支援を引き続き官民協働で行い、サイトの利用促進を図る。

2 エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業

(1) 現在の登録事業者数

令和2年度は6事業者・団体の新規登録があり、令和3年3月12日現在で112事業者等が登録をしている。

【登録数の推移】

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
事業者数	24	68	81	100	106	112

(2) 事業報告

ア 秋田市エイジフレンドリーパートナー研修会の開催

日時 令和3年1月25日（月）14時～15時半

会場 秋田市役所 5階 正庁

内容 第1部

講演 「職場における高年齢の効果的活用術」

講師 特定社会保険労務士 小笠原 浩之氏

講演 「シニア情報ポータルサイトの開設について」

講師 株式会社ALL-A 営業部 部長 佐藤 雄介氏

第2部 エイジフレンドリーパートナーの取組発表

取組紹介事業者 株式会社むつみワールド

情報戦略室 室長 天野 厚助氏

参加者 23名（パートナー事業者・団体のみ対象 19社）

イ 認知症サポーター養成講座の開催
エイジフレンドリーパートナーの
取組として本講座の受講を掲げている
事業者等を主な対象として、8月
6日（木）に中央市民サービスセン
ターで開催した。

参加者数：19名（16事業者）



認知症サポーター養成講座受講の様子

ウ エイジフレンドリーパートナーPR番組の制作

広報広聴課に依頼し、エイジフレンドリーパートナーの取組を紹介する
テレビ番組を制作した。

【番組内容】

- ・アシスタおよび株式会社K&Kメルシ（ローソン秋田駅西店）の取組
紹介

【放送回数】

- ・令和2年12月 6日、12日 ABS：こんにちは秋田市から
- ・令和3年 1月20日 AKT：こんばんは秋田市から
- ・秋田市 エイジフレンドリーシティ Facebook への掲載

(3) 課題と対応

感染拡大防止策を講じ、定員を制限して行った認知症サポーター養成講座や
パートナー研修会であったが、研修会でのパートナーの取組発表では、コロナ
禍でも工夫している事例が紹介され、参加者の刺激になっていたことから、来
年度も、引き続きパートナー研修会等を開催し、既存パートナーの取組の充実
を図る。

また、今年度は、コンビニエンスストアが初めてエイジフレンドリーパート
ナーとして登録し、小売業の中でも新しい形態の取組を広げることができたが、
さらにパートナー事業者数を増やしていくため、広報あきたやホームページ、
SNSなどの広報媒体を活用するなど、積極的なPR活動を行っていく。

3 エイジフレンドリーシティ普及啓発事業

(1) シニア映画祭の開催

9月および1月の毎週水曜日（9月は第1週を除く）の午前、午後の2回、
秋田拠点センターアルヴェ内のAL☆VEシアターで開催（計16回）。定員は、
感染拡大防止のため、座席の間隔を空けて平常時の半分程度とした。

チケット料金は、コインバス資格証明書提示の方および障がい者手帳（65歳以上の秋田市民）提示の方は500円、その他の方は800円とした。

上映前の待ち時間を利用し、市政テレビ番組として作成したエイジフレンドリーパートナーの取組紹介やシニア情報ポータルサイトの開設のご案内を行った。

	上映作品(9月)		上映作品(1月)
9日	南極料理人	3日	男はつらいよ お帰り 寅さん
16日	モリのある場所	10日	引っ越し大名！
23日	オケ老人！	17日	YUKIGUNI
30日	最高の人生の見つけ方	24日	鈴木家の嘘

(2) エイジフレンドリーシティカレッジの開催

日時 令和2年12月23日(水) 14時～15時半
 会場 秋田市にぎわい交流館AU 3階 多目的ホール
 内容 講演 「コロナ禍、人工知能と共に生きる智慧」
 講師 NPO法人ブロードバンドスクール協会
 理事 若宮 正子氏

来場者 85名



若宮 正子氏

(3) エイジフレンドリーシティ通信の発行

- ・作成部数 139,000部(全戸配布:137,706部)
- ・発行日 令和3年3月5日(金)

(4) 「エイジフレンドリーオリジナルマスクケース」の作成

エイジフレンドリーシティの普及啓発を目的として、エイジフレンドリーシティシンボルマーク等をデザインしたうちわを作製していたが、竿燈まつりなどのイベントが中止となり、季節を限定したうちわでの普及啓発が難しくなった。

そこで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの皆さんが使用しているマスクを着脱した際に、衛生的に保管できるケースを作成、配布し、普及啓発を行った。



オリジナルマスクケース

(5) 社会科の副読本「わたしたちの秋田市」への掲載

市内の小学3年生を対象に配布している副読本に、本市の取組を掲載した。

(6) 課題と対応

エイジフレンドリーシティカレッジへの参加理由としては、講師への関心や、講演内容への興味などが挙げられ、講演の満足度は76%と好評だったことから、来年度も多くの市民に関心を持ってもらえるよう、テーマや講師を検討する。

また、エイジフレンドリーシティの取組を発信するとともに、広報あきたやホームページ、SNS等各種情報媒体を活用し、エイジフレンドリーシティの理念の普及啓発に努めていく。

4 高齢者生活支援情報提供事業

(1) 冊子「秋田市暮らしに役立つサービス」の発行

- ・作成部数 20,000部（市の施設や地域包括支援センター等に設置）
- ・発行 令和3年2月末
- ・サービス件数 18サービス
- ・掲載事業者数 156事業者（前年度146事業者）
- ・新規掲載内容 情報機器に関する項目として、「パソコン・スマートフォン・インターネットなどで困ったら」を掲載。また、「シニア情報ポータルサイト」について掲載。

(2) 課題と対応

本冊子は、高齢者とその家族をはじめ、高齢者を対象とした相談業務に携わる方々にも好評である。今後も内容の充実に努め、冊子を必要とする方に適切に配布できるよう、広報あきたやホームページ、SNSを活用しての周知に努めるほか、高齢者やその家族が利用する公共施設や病院をはじめ、各地域包括支援センターなどの相談窓口十分に設置する。

令和3年度の取組について

1 エイジフレンドリーシティ推進事業について

(1) **新規**第3次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画の策定

令和2年度に実施した市民意識調査の分析結果および各地区で開催したエイジフレンドリーシティ推進戦略づくりワークショップでの市民の意見等を踏まえ、「第3次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画」を策定する。

(2) 秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会の開催（年4回予定）。

(3) エイジフレンドリーシティ推進戦略づくりワークショップ

2地区での開催を検討。

(4) シニア情報ポータルサイト運営支援

令和2年度に「シニア情報ポータルサイト運営協議会」において開設した「シニア情報ポータルサイト『プラっと!』」の運営について、引き続き官民一体でPRや情報提供などの支援を行い、サイトの利用促進による高齢者の新たな社会参加の場を創出する。

2 エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業について

(1) 秋田市エイジフレンドリーパートナー研修会の開催

シニアビジネスに関する知識を深め、ビジネスを通じた地域課題の解決など、パートナーの意識と知識の向上を図るとともに、意見交換などを通し、他事業者・団体との連携強化を図る機会とする。

(2) **新規**秋田市エイジフレンドリーパートナーの表彰

他の模範となるような取組を行っているパートナー事業者・団体を表彰し、モチベーションの持続、向上を図り、取組の活性化につなげる。

3 エイジフレンドリーシティ普及啓発事業について

エイジフレンドリーシティカレッジの開催や、通信の全戸配布、竿燈まつり等でのPR活動を行うほか、高齢者の元気づくりのため、身近な楽しみを増やす機会として、引き続き年2回、シニア映画祭を開催する。

4 高齢者生活支援情報提供事業について

冊子「暮らしに役立つサービス」の内容を更新し、20,000部を発行する。